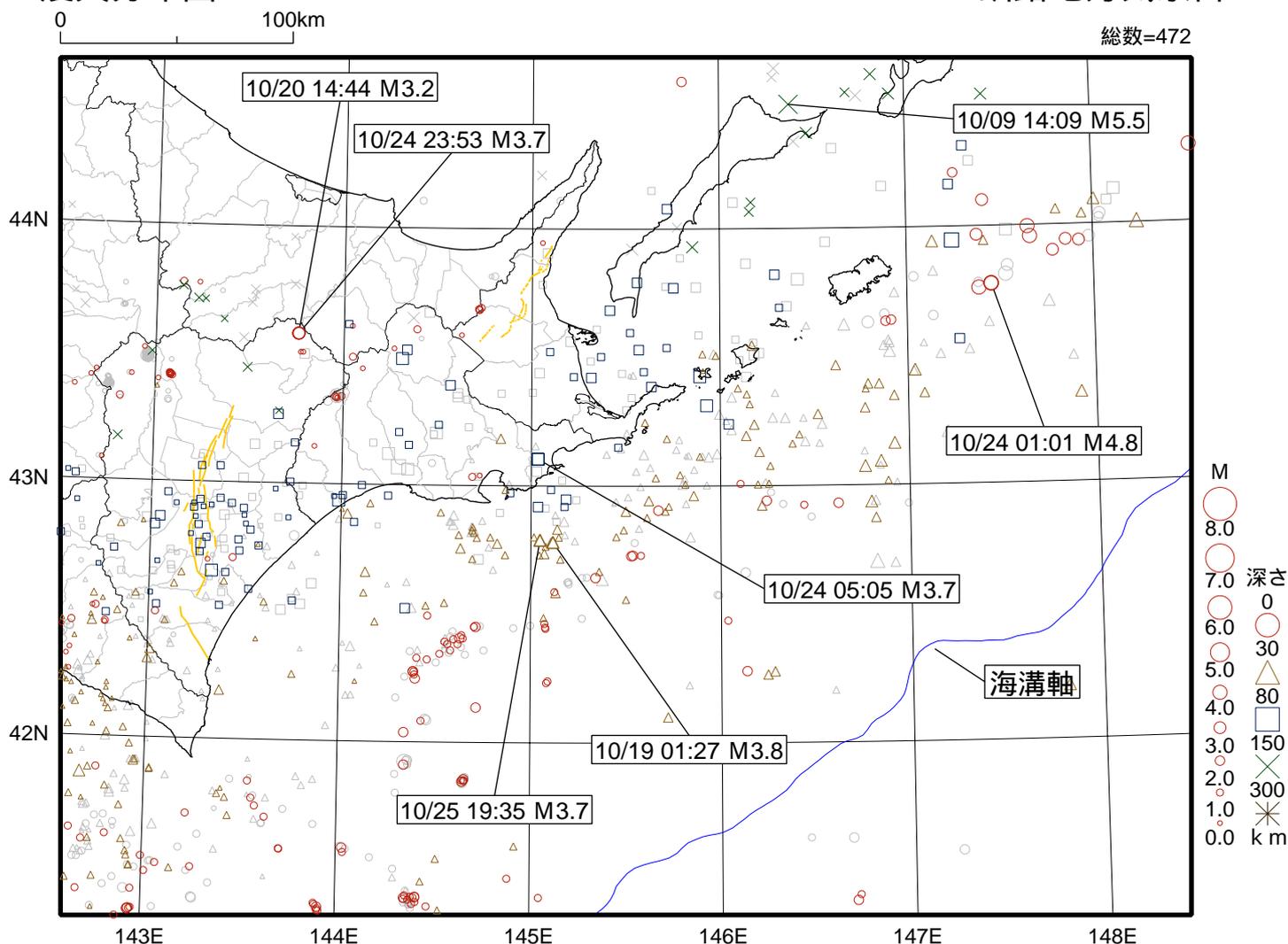


# 釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2023年10月1日～2023年10月31日

震央分布図

釧路地方気象台



## 地震概況（2023年10月）

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は10回（先月9月は7回）で主な地震は次のとおりです（詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照）。

9日14時09分、国後島付近を震源とする地震（M5.5、深さ175km）により、浜中町、根室市、別海町で震度2を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度1を観測しました。

13日18時59分、青森県西方沖を震源とする地震（M5.0、深さ171km、震央分布図の範囲外）により、浦幌町で震度2を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度1を観測しました。

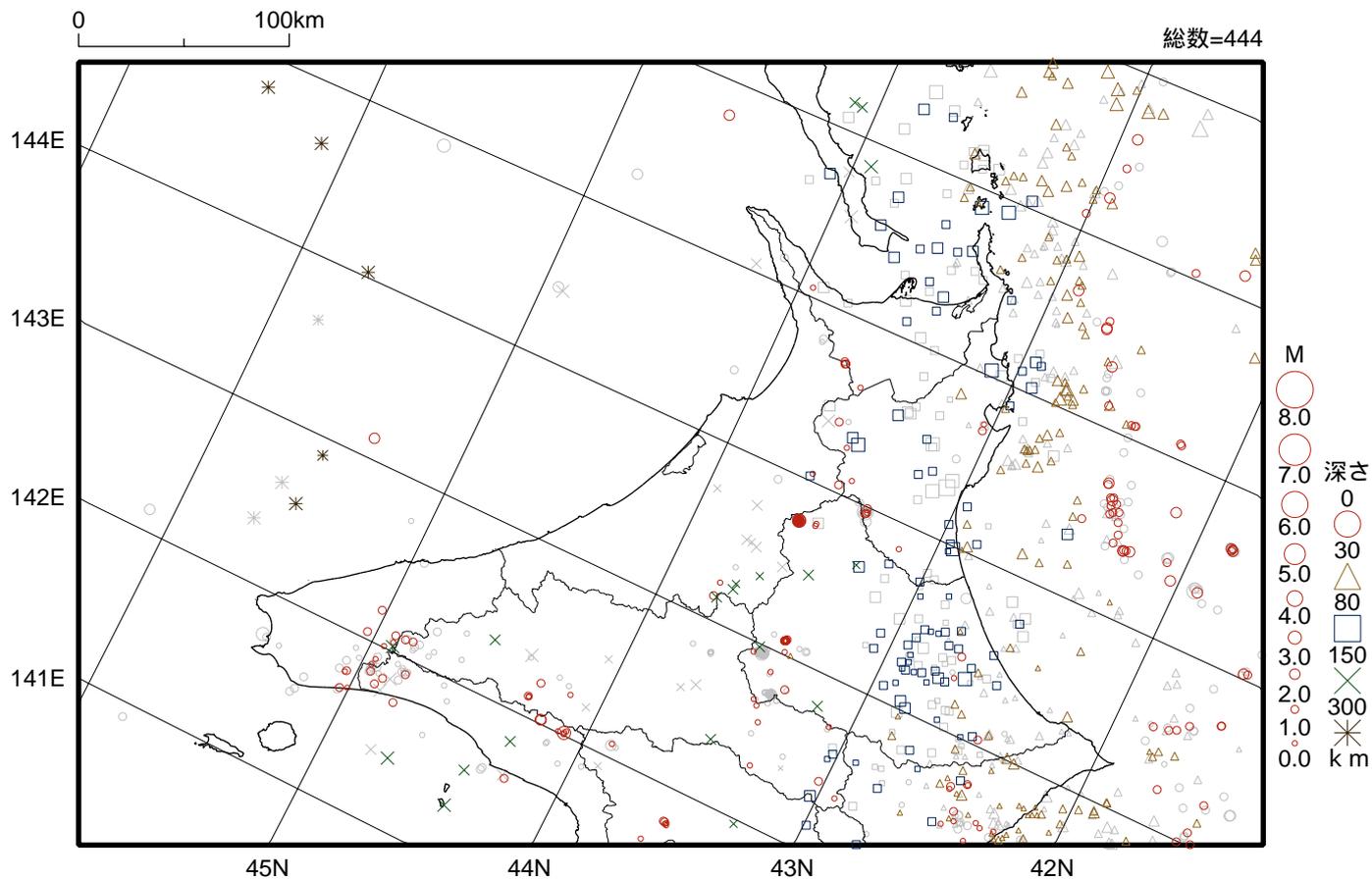
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。

[https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake\\_data.html](https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html)

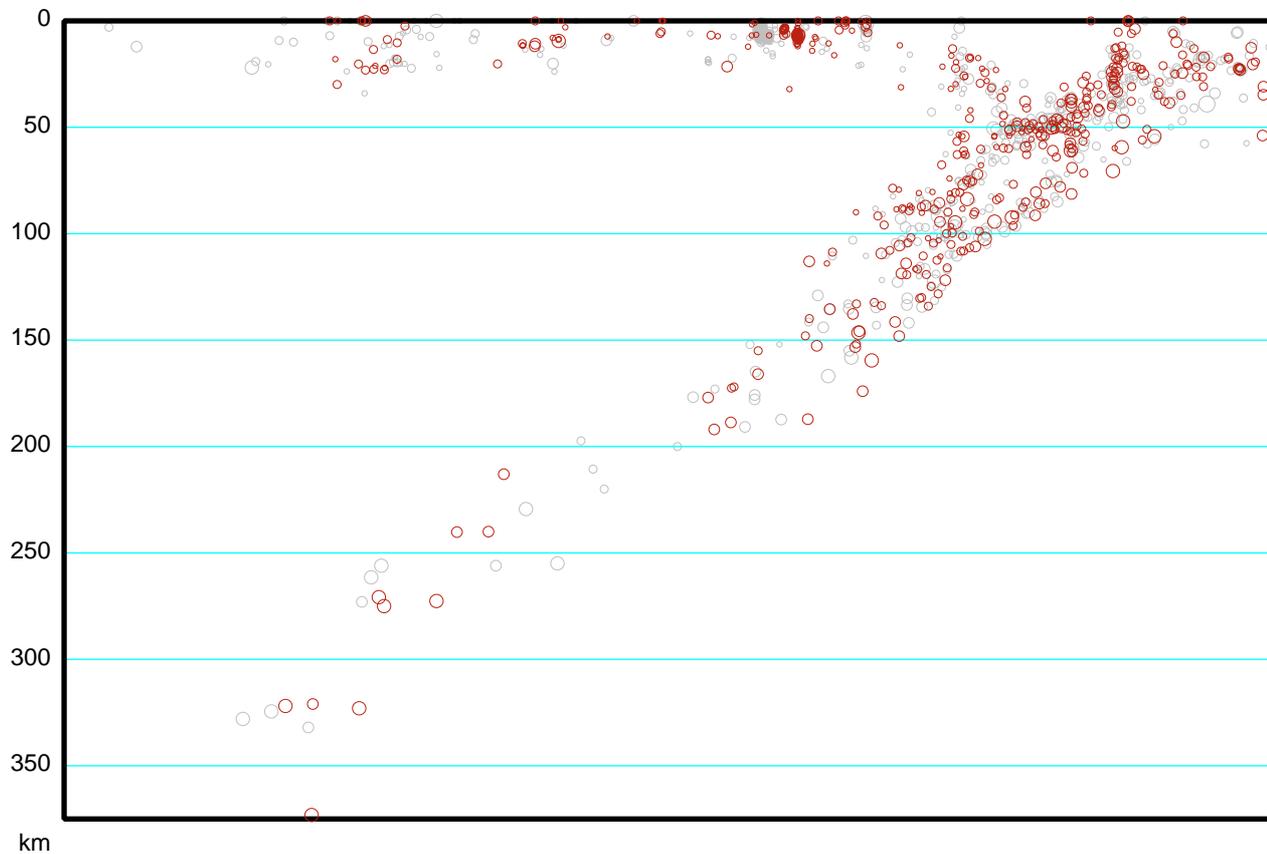
この資料に関する問い合わせ先 釧路地方気象台 TEL 0154-31-5110

2023年10月1日 ~ 2023年10月31日

震央分布図



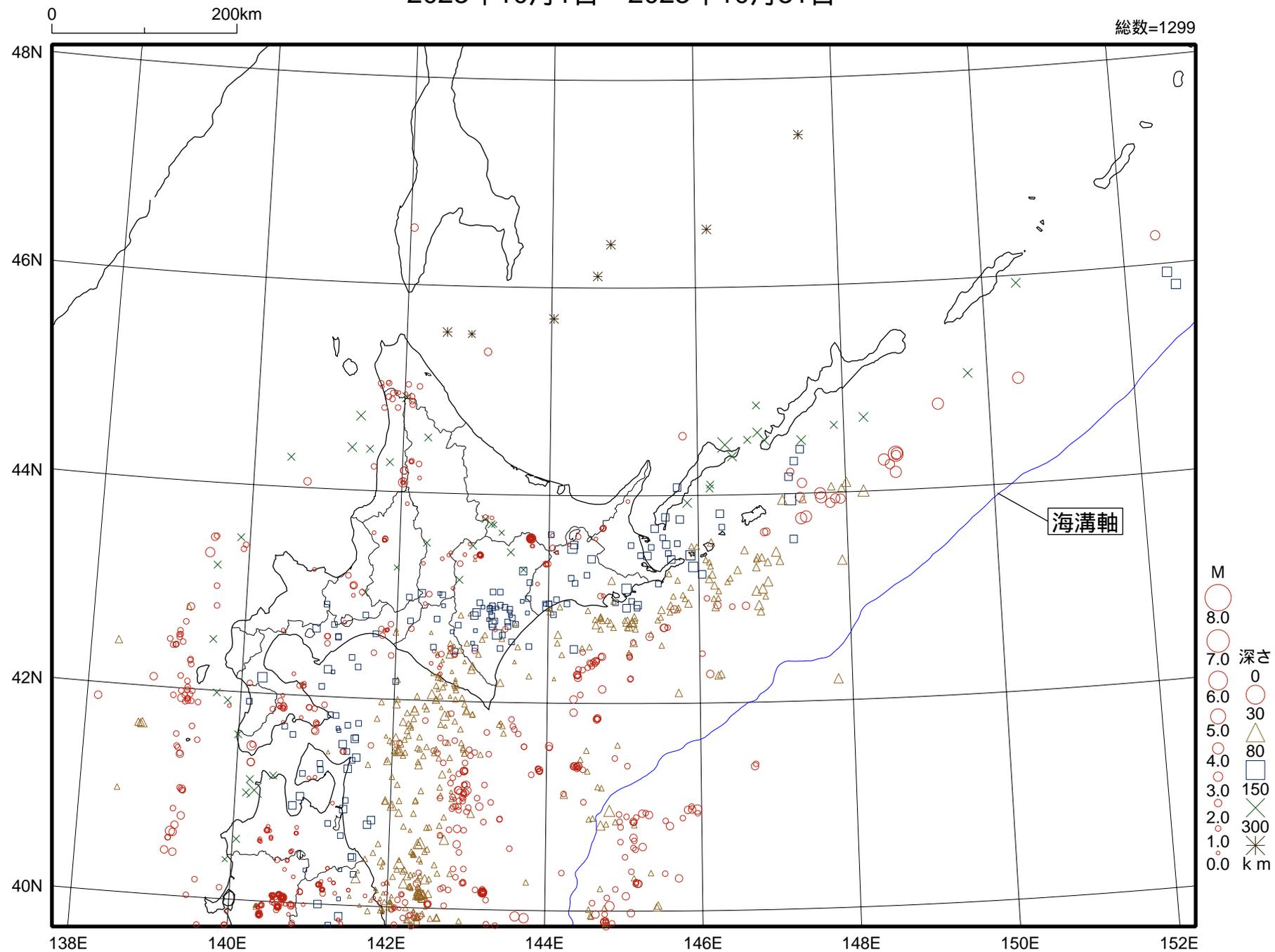
断面図



# 北海道の地震活動図

2023年10月1日 ~ 2023年10月31日

震央分布図



## 釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表（2023年10月）

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2023年10月9日 釧路地方 根室地方 十勝地方	14時09分 震度2 震度1 震度2 震度1 震度1	国後島付近 浜中町茶内*(17) 釧路市幸町(05) 釧路町別保*(11) 厚岸町尾幌(08) 厚岸町真栄*(06) 標茶町塘路*(14) 鶴居村鶴居東*(05) 白糠町西1条*(12) 別海町本別海*(16) 根室市落石東*(16) 標津町北2条*(10) 標津町薫別*(05) 別海町常盤(13) 根室市弥栄(07) 根室市牧の内*(14) 根室市厚床*(13) 根室市瑤瑠*(13) 十勝大樹町生花*(12)	44°28.9 N	146°22.5 E	175 km	M5.5
2023年10月13日 根室地方	07時33分 震度1	択捉島南東沖 標津町北2条*(06) 別海町常盤(07)	44°20.8 N	148°41.6 E	30 km	M5.2
2023年10月13日 十勝地方 釧路地方 根室地方	18時59分 震度2 震度1 震度1 震度1	青森県西方沖 浦幌町桜町*(22) 帯広市東4条(07) 帯広市東6条*(07) 幕別町忠類錦町*(12) 本別町北2丁目(05) 十勝大樹町東本通*(05) 十勝大樹町生花*(10) 広尾町並木通(05) 釧路市幸町(06) 釧路市音別町中園*(11) 標茶町塘路*(07) 白糠町西1条*(10) 標津町北2条*(09) 別海町常盤(10) 別海町本別海*(10)	41°03.7 N	140°14.6 E	171 km	M5.0
2023年10月14日 十勝地方	11時29分 震度1	青森県東方沖 浦幌町桜町*(12) 十勝大樹町東本通*(05) 十勝大樹町生花*(05)	41°30.7 N	142°05.0 E	54 km	M4.7
2023年10月19日 釧路地方 根室地方	01時27分 震度1 震度1	釧路沖 標茶町塘路*(05) 標津町北2条*(09) 根室市牧の内*(07)	42°46.8 N	145°06.9 E	61 km	M3.8
2023年10月20日 十勝地方	14時44分 震度1	十勝地方北部 陸別町陸別*(05)	43°34.9 N	143°45.4 E	7 km	M3.2
2023年10月24日 根室地方	01時01分 震度1	北海道東方沖 根室市瑤瑠*(05)	43°46.5 N	147°27.0 E	0 km	M4.8
2023年10月24日 釧路地方 根室地方	05時05分 震度1 震度1	釧路地方中南部 弟子屈町弟子屈*(05) 浜中町茶内*(09) 標茶町川上*(05) 標茶町塘路*(11) 鶴居村鶴居東*(05) 別海町本別海*(06) 根室市牧の内*(07) 根室市厚床*(14) 根室市落石東*(11)	43°06.2 N	145°02.1 E	94 km	M3.7
2023年10月24日 十勝地方	23時53分 震度1	十勝地方北部 陸別町陸別*(12)	43°34.9 N	143°45.5 E	7 km	M3.7
2023年10月25日 根室地方	19時35分 震度1	釧路沖 根室市厚床*(07)	42°47.3 N	145°02.8 E	49 km	M3.7

\*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

( )内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

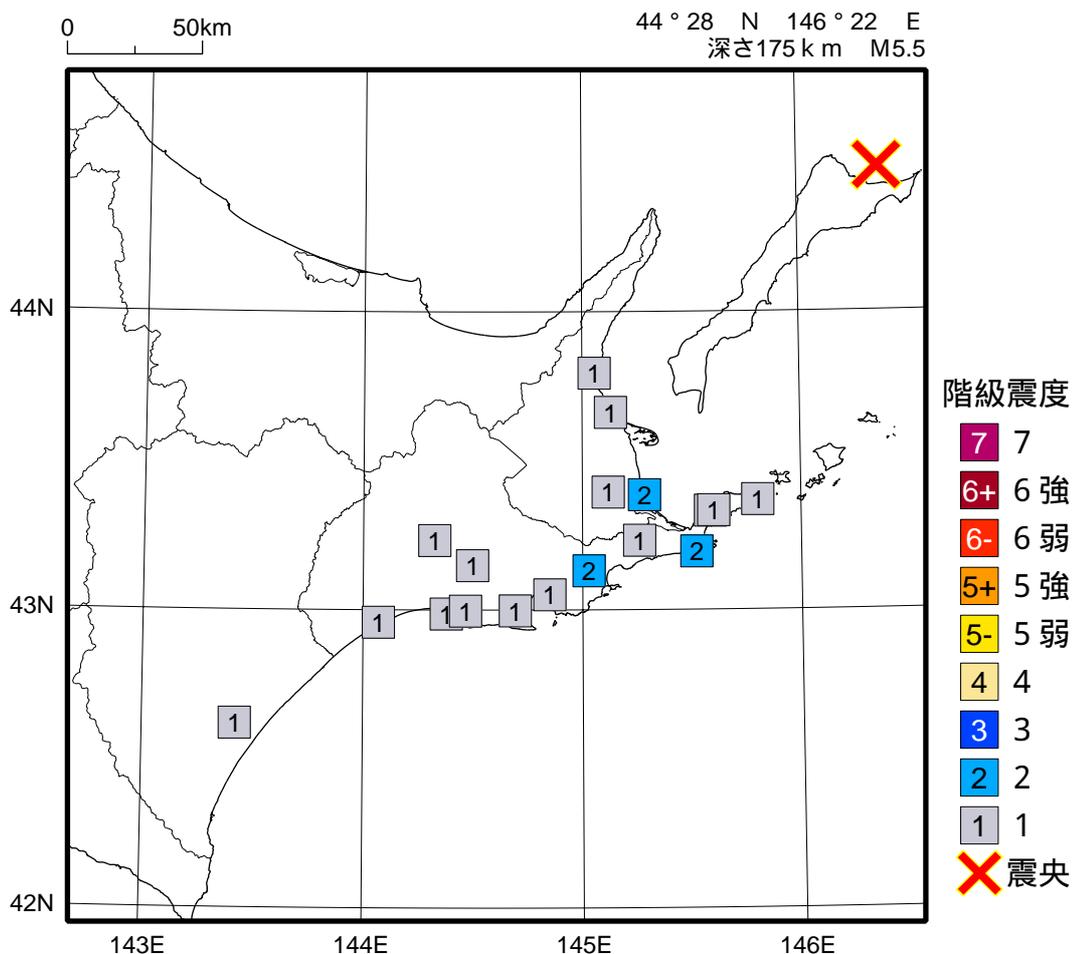
### 計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

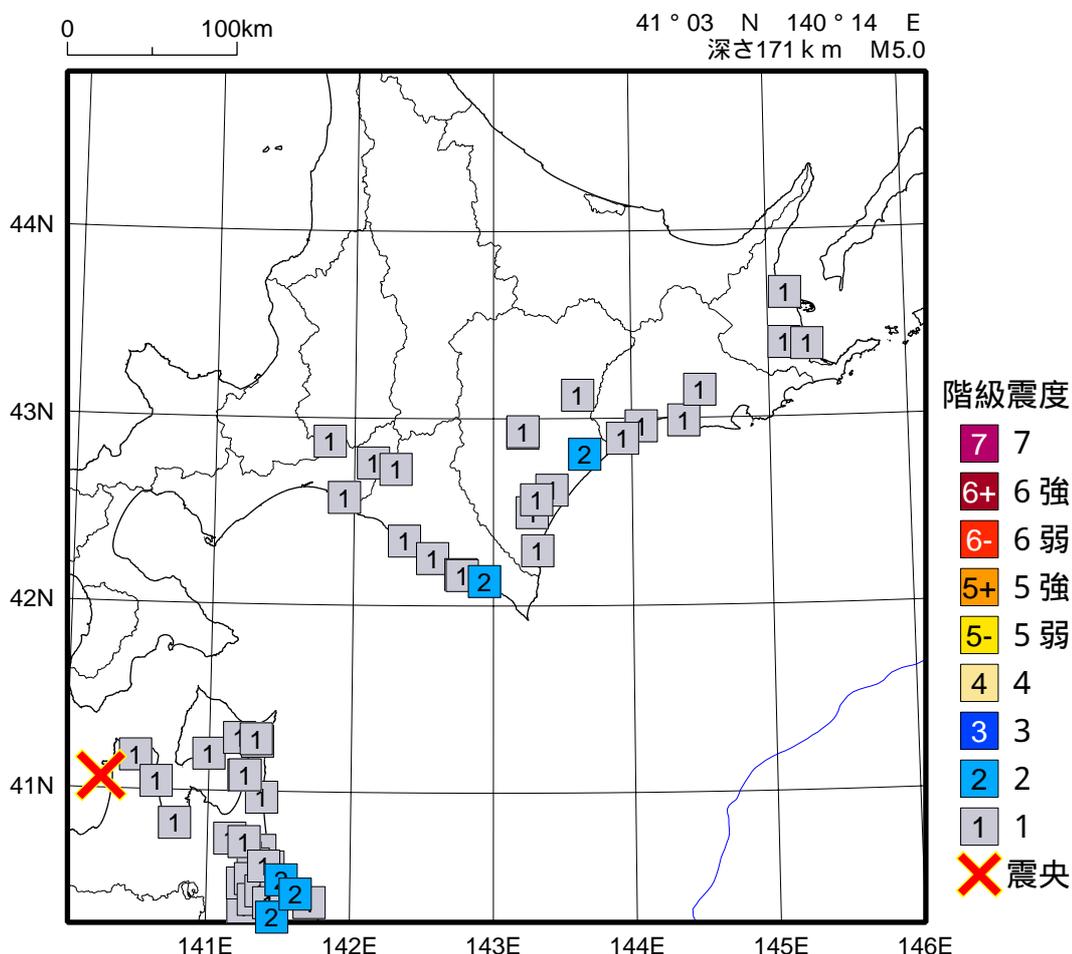
### 本資料の利用にあたって

- 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。
- 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- 過去の地震と比較するため、前3ヶ月(今期間を含まない)の震央を灰色のシンボルで表します。
- 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号平29情使、第798号)。

2023年10月 9日14時09分 国後島付近の地震の震度分布図



2023年10月13日18時59分 青森県西方沖の地震の震度分布図



## 【防災メモ】

# ～陸域の浅い地震～

地球の表面は十数枚の巨大な板状の岩盤（プレート）で覆われており、それぞれ別々の方向に年間数cmの速度で移動しています。

日本列島周辺では、複数のプレートがぶつかり合うため、大きな力がかかり岩盤にひずみが蓄えられます（図1）。そのひずみが限界に達したとき岩盤が急速にずれ動きます。これが地震です。

地震は、海溝沿いでプレート境界や海のプレート内部で発生する「海溝型地震」のほか、陸域の浅い所でも発生します。この地震を「陸域の浅い地震」と呼びます（図2）。

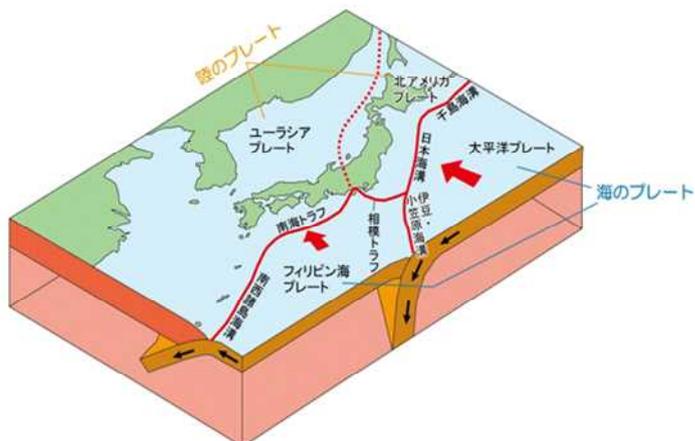


図1 日本列島周辺のプレート

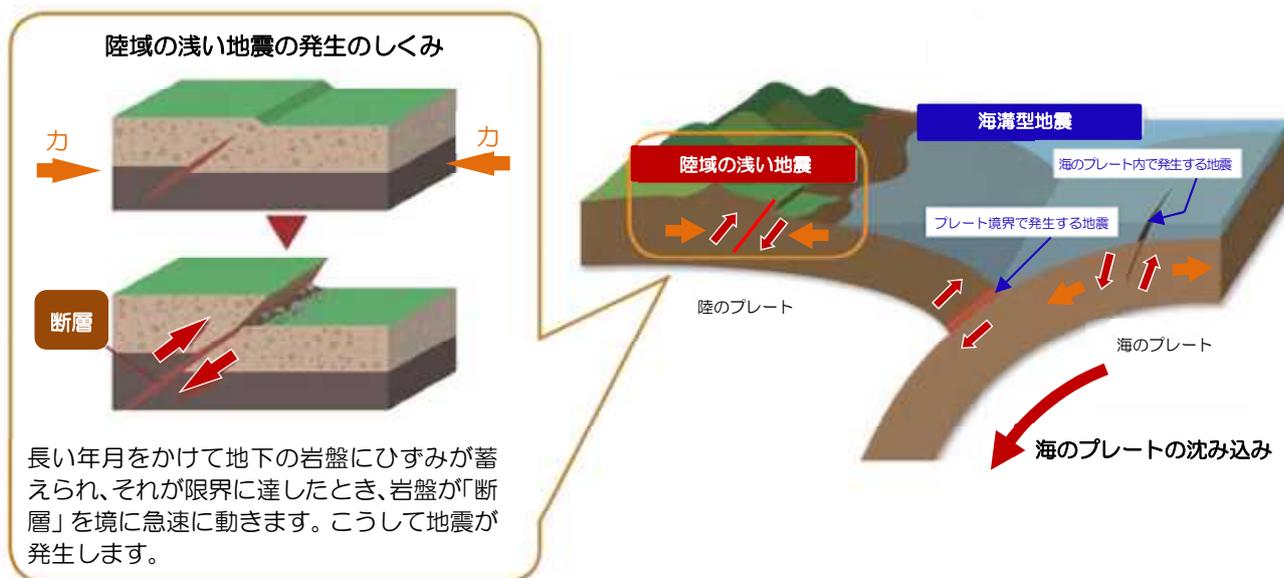


図2 日本列島周辺で発生する地震のタイプ

「陸域の浅い地震」は、地震の規模（マグニチュード）が比較的小さくても震源の直上では揺れが強くなるため、人の住む場所で発生すると局所的に大きな被害が生じる場合があります。

2018年（平成30年）9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」はマグニチュード6.7と、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」のマグニチュード9.0に比べて地震のエネルギーは2800分の1でしたが、最大震度は同じ7を観測しました。この強い揺れで、大規模な土砂崩れにより多くの人命が失われ、また、地盤の液状化による住家倒壊、「ブラックアウト（全域停電）」などの大きな被害が生じました。

地震はいつ起きるかわかりません。突然の揺れに備えて日頃から家具の固定や身の安全を図る行動の確認をしておきましょう。